

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

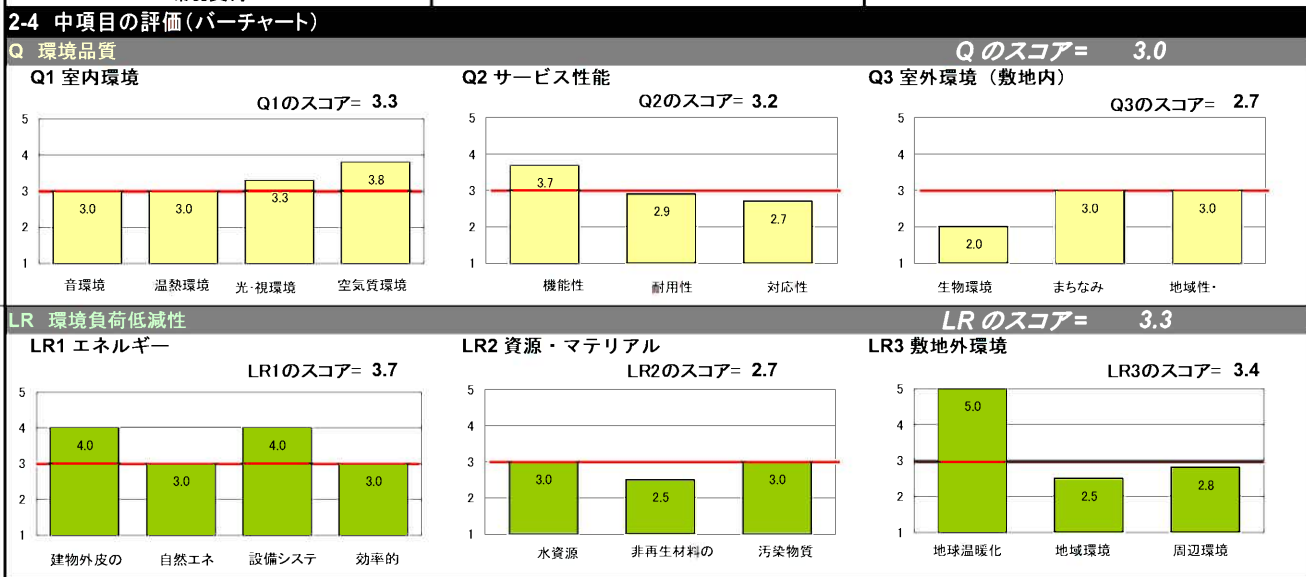
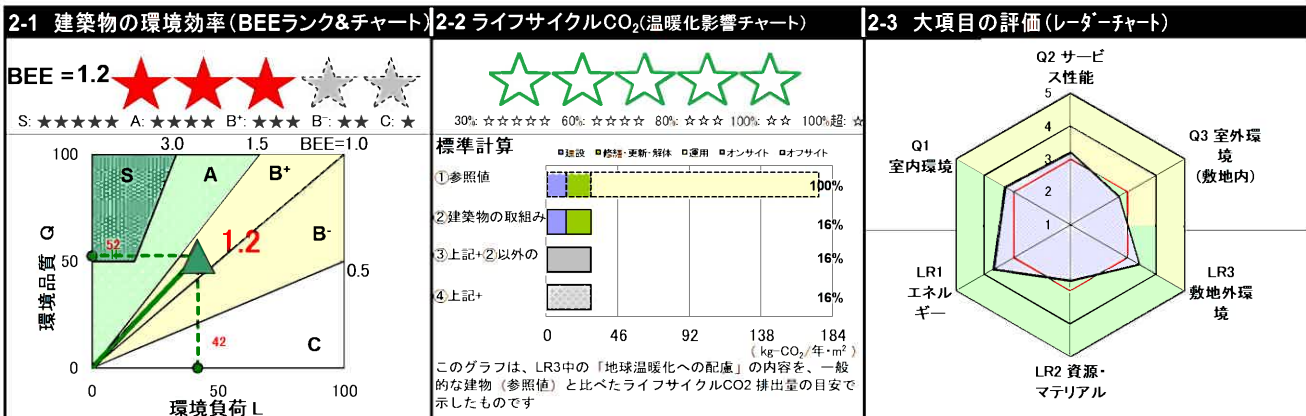


■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームのつぼろの里	階数	地上6階建
建設地	札幌市厚別区上野幌1条1丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種低層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	100人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年5月31日
敷地面積	3,998 m ²	作成者	
建築面積	1,007 m ²	確認日	2017年6月10日
延床面積	4,994 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周辺住宅に配慮した配置にし、境界線には植え込みなどを設け、圧迫感を与えないようにします。建物内には地域交流スペース(災害時避難場所)を設け、周辺住民に親しまれるような施設を目指します。</p>		<p>A 省エネルギー</p> <p>LED照明の採用。居室は2重窓とし空調負担を低減させます。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>節水型便器の採用</p>	<p>C 緑化</p> <p>緑化基準以上の緑化率</p>	<p>D 雪処理</p> <p>敷地内に十分な排雪スペースを確保します。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)特別養護老人ホームのつぼりの里

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目	■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理		全体
	配慮項目	A	B	C		D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	重み 係数	建物全体・共用部分 評価点	重み 係数	住居・宿泊部分 評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質														
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1 開口部遮音性能														
2 界壁遮音性能														
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														
1.3 吸音														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
1 室温														
2 外皮性能														
3 ゾーン別制御性														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
3 光・視環境														
3.1 昼光利用														
1 昼光率														
2 方位別開口														
3 昼光利用設備														
3.2 グレア対策														
1 昼光制御														
2 障り防止対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
4 空気環境														
4.1 発生源対策														
1 化学汚染物質														
2 空気汚染物質														
4.2 換気														
1 換気量														
2 自然換気性能														
3 取り入れ外気への配慮														
4.3 運用管理														
1 CO ₂ の監視														
2 喫煙の制御														
Q2 サービス性能														
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1 広さ・収納性														
2 高度情報通信設備対応														
3 バリアフリー計画														
1.2 心理性・快適性														
1 広さ感・景観														
2 リフレッシュスペース														
3 内装計画														
1.3 維持管理														
1 維持管理に配慮した設計														
2 維持管理用機能の確保														
3 衛生管理業務														
2 耐用性・信頼性														
2.1 耐震・免震														
1 耐震性														
2 免震・制振性能														
2.2 部品・部材の耐用年数														
1 躯体材料の耐用年数														
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														
6 主要設備機器の更新必要間隔														
2.4 信頼性														
1 空調・換気設備														
2 給排水・衛生設備														
3 電気設備														
4 機械・配管支持方法														
5 通信・情報設備														
3 対応性・更新性														
3.1 空間のゆとり														
1 階高のゆとり														
2 空間の形状・自由さ														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														
1 空調配管の更新性														
2 給排水管の更新性														
3 電気配線の更新性														
4 通信配線の更新性														
5 設備機器の更新性														
6 バックアップスペースの確保														

CASBEE Sapporo2014v1.2

(仮称)特別養護老人ホームのつぼりの里

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出						2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮						3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上						3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制						A	4.0	0.20	-	4.0	
2 自然エネルギー利用						A	3.0	0.10	-	3.0	
3 設備システムの高効率化						BE1 非住宅 0.73 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)						A	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)						A	-	-	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング						A	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制						A	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング						A	5.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制						A	5.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.7	
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水						3.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	2.5	
2.1 材料使用量の削減						B	3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						B	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						B	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						B	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						B	2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						B	3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	-	
1 消火剤						B	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)						B	-	-	-	-	
3 冷媒						B	3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.4	
1 地球温暖化への配慮						B	5.0	0.33	-	5.0	
ライフサイクルCO2排出に基づく換算スコア5.0						-	-	-	-	-	
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止						B	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						B	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						C	3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減						D	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						B	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						B	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						B	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.8	0.33	-	-	2.8	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	-	
2 振動						-	-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制						1.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制						2.3	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策						2.0	0.70	-	-	-	
2 日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE 札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.2	BEEランク	B ⁺
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームのつぼろの里	総合評価 ★★★★★			
建物用途	病院				
延床面積	4,993.93 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	18点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 3.0		
Q1 光・視環境	スコア 3.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.0		
B 省資源等				合計	15点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
C 緑化				合計	8点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理				合計	2点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
LED照明の採用。居室は2重窓とし空調負担を低減させます。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
節水型便器の採用	緑化基準以上の緑化率	敷地内に十分な排雪スペースを確保します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される